

009

From Editor

011

表紙の時計／ジャガー・ルクルト ポラリス・パーペチュアルカレンダー

012

Editor's Choice!

ジャガー・ルクルト ポラリス・デイト・グリーン／パネライ サブマーシブル 44 e スティールヴェルデスマラド
オメガ シーマスターダイバー 3000M マスタークロノメーター
ブライトリング スーパーオーシャン オートマチック 44／オリス ニューヨークハーバーリミテッドエディション
モンブラン 1858 アイスシー オートマティック デイト

018

世界は時計で回っている。

020

アクリヴィア レジェック・レジェッククロノメトル コンテンポラン II (RRCC II)

「時計づくりのすべてを学び、完璧を目指し、次世代に伝えたい」

022

ローマン・ゴティエ コンティニウム チタン エディションワン、コンティニウム チタン エディションツー

伝統の未来への継続を願い誕生したカジュアルな高級時計

024

ヴァンクリーフ&アーペル レディアール フローラル ウォッチ

ランダムに咲く花が自然界の不規則性を表した花時計

026

ジャガー・ルクルト マスター・コントロール デイト、マスター・コントロール カレンダー

よりエレガントに、そしてより実用性を増した マスター・コントロール

028

レゼルポール ソノマスター クロノグラフ

オーデイオの世界にインスピレーションを得た クロノグラフ

031

オーデピゲ ロイヤル オーク

激動の時代に生まれ、

50周年を迎えた アイコニック・モデル

ロイヤル オークは誕生50周年を迎えて新コレクションが発表された。しかしジェラルド・ジェンタが一晚で完成させたデザインから逸脱することはあり得ない。このアイコンが誕生した背景をみるとともに、音楽やアートを支援する今日のオーデマピゲを紹介する。

043

ブランド別新作情報 パート2 (WPHH / TIME UNITED / その他)

アーカイブの発掘、機構開発、カラーリング……

新作にみる個性づくりのアプローチ

フランクミュラーとクストスが新作を発表したWPHH、輸入代理店8社が集まり、初めて東京で開催されたTIME UNITEDのほか、個別で新作を発表したブランドの新作を取り上げる。それぞれがどのように個性づくりを進めているのを見てみたい。

077	時計も未来を考える III
	海洋プラスチック問題の解決に向けて動きだした腕時計
	地球のおよそ7割を占める海がプラスチックごみによる汚染に侵され、生態系にも影響を及ぼしている。SDGsの14番目の目標である「海の豊かさを守る」のために動きだしたパネライ、ユリス・ナルダン、モリス・ラクロア、ホームを取り上げる。
088	ロジェ・デュブイ・エクスカリバーモノバランシエ、エクスカリバーモノバランシエソラヤマ、 ジュネーブ・シール初のシリシウム製脱進機装備のキャリバー
090	ゼニス・キャリバー35 オプセルヴァトワールリミテッドエディション、 ゼニスの高精度ムーブメントの歴史にスポットを当てて
091	カンパノラ、グロバルアートコレクション「天」「地」
092	スイスの機械式時計と日本の工芸、ふたつの文化の融合 フォルティス・ストラトライナーS.41
093	宇宙旅行時代到来に備えてツール・ウォッチが誕生 カシオ・GM-2100、GM-5600SW
094	外装の耐衝撃構造と仕上げで進化を遂げるGショック ノルケイン、アドベンチャースポーツオートJP、インディペンデンスJRPブラック・マザー・オブ・パール
095	限定モデルとパートナーシップで日本との繋がりを深める KURONOBUNKYO TOKYO、34
096	小ぶりなケースと色使いの昔懐かしい味わいが魅力 腕時計新着情報
101	タグ・ホイヤー・ブティック表参道、移転リニューアル
102	オメガ、OMEGA Heritage 宝物のような時間たち
103	2023年度ロレックス賞応募受付 IWC「ポートフィノ・クロノグラフ 39、ローレウス・スポーツ・フォー・グッド」
104	第12期ウォッチ・コーディネーターおよび第7期上級ウォッチ・コーディネーター試験受付開始
105	スイスの時計産業と日本を繋ぐスイス時計協会(FH) 第5回
106-112	インフォメーション／問い合わせリスト／次号予告

アクリヴィア レジエップ・レジエピクロノメトル・コンテンポラン II (RRCC II)

「時計づくりのすべてを学び、完璧を目指し、次世代に伝えたい」

アワーグラス銀座店が取り扱いを開始したアクリヴィアのレジエップ・レジエピ氏が、シンガポール・アワーグラスのマイケル・テイ氏と共に新作を携えて来日した。35歳という若い独立時計師であり、スイス高級時計の伝統の担い手として注目される。



レジエピ氏は、2018年に右の写真にある「RRCC I」を発表し、文字盤に自らの名前を記した。3気圧防水の直径38.0mm×厚さ9.5mmの18Kローズゴールドのケースに手巻きのCal.RRCC-01 (19石、毎時1万8000振動、パワーリザーブ約100時間)を搭載する。Pt.950ケースも揃う。



「これほど嬉々として時計の話をする人はめったにいない」。これがレジエップ・レジエピ氏にお話を伺ったときの印象だった。誠実に、嬉しそうに時計を語る彼は、心底、自らの仕事に惚れ込んだ職人だった。「寝ても覚めても時計のことだけを考えています。そして自分の時計が褒められても、もっとと良くできたかも

しれない」と思ってしまう」と語る。

レジエップ・レジエピ氏は1987年にコンボに生まれた。幼い頃、スイスで働いていた父親が帰ると、彼が持っていたテイソの腕時計のチクタクという音が気になり、中を見てみたいという衝動に駆られたという。これが時計に興味をもった最初だった。11歳で父親がいるジュネーブに移り住んだが、街中に時計ブランドの看板があるのを見て興奮したという。言葉がわからない異国の地で苦労したことは想像に難くないが、時計の街で暮らすことがなよりの喜びだったという。

15歳でパテックフィリップに見習いとして入り、工房では実技を、時計学校では理論を学んだ。優秀さを認められ、3年の見習いを終えると時計師として雇われ、2年を過ごした。「10デイズ・トゥールビヨンを組み立てながら、自分の時計工房を作りたい、と思うようになりました」と語る。20歳になると複雑時計開発を専門としたBNBに移り、その後、F.P.ジュルヌで複雑時計の組み立てに携わった。

「F.P.ジュルヌでは時計の技術、デザイン、哲学、そして誠実に集中して仕事をするこの大切さを学びました。ジュルヌさんは私に最も大きな影響を与え、とても尊敬しています。独立して自分の工房を作りたい、と打ち明けた時には前に突き進む勇気を与えてくれました」。こうして彼は2012年に25歳で独立し、ギリシャ語で精度を意味する「アクリヴィア」(AKRIVIA)を設立した。

2013年から2017年までにAKI01からAKI06までの時計を発表した。AKI06以外はすべてトゥールビヨンで装備する。2018年にはレジエップ・レジエピ・コレクションの第一弾となるRRCCIを発表。今年はそのさらに進化させたRRCCIIが登場した。19世紀の懐中時計に着想を得たグライン・フー・エナメルのベースに特徴的なアールデコ風のラインを入れて、セクター文字盤が現代的にアレンジされた。1950年代の腕時計を思わせるカーブした細く長いラグを備えたラウンドのケース

ローマン・ゴティエ、コンティニウムチタンエディションワン、
コンティニウムチタンエディションワン」

伝統の未来への継続を願い誕生したカジュアルな高級時計

ローマン・ゴティエからカジュアルなプレタポルテウォッチが誕生した。モダンな外装と丹念に仕上げられた伝統的なムーブメントがひとつとなって、現代性と継続性が表現される。2025年までには新工房の設立も予定され、順調な発展を遂げている。



「コンティニウムチタンエディションワン」。グレード5のナチュラルチタニウム製ケースと文字盤にグレーのラバー・ストラップ(グレード5のチタニウム製ピンバックル付き)を組み合わせる。価格539万円。限定28個。(完売)。

技術力を誇る独立時計師であっても自らのブランドを立ち上げ、成功した例は決して多くはない。他にはない発想や優れた技術、創造力があっても、資金に恵まれずに頓挫してしまうことが稀ではない。時計を開発し、製造すること、ビジネスとして利益を得てブランドを発展させることは別次元の話であり、これは無理からぬことだろう。

創業のためにビジネスの側面から時計ブランドの在り方を構築したのが、ローマン・ゴティエ氏(47歳)である。スイスのジュウ溪谷のテクニカル・スクールで精密機械工学と機械製造を学び、卒業後はムーブメントの部品メーカーで仕事を始めた。次第に時計の小さな機械に魅せられ、時計の設計を始め、やがて自分のブランドを創業する夢を抱くようになったという。「起業するには経営に関わる広範な知識が必要です。これを身に付けるにはMBA(経営学修士)のコースで学ぶことが近道と考えました」と、以前

の取材で語った。仕事の傍らローザンヌ・ビジネス・スクールに入学し、2002年にはMBA(経営学修士)を取得した。修士論文は「ローマン・ゴティエのためのビジネス・プラン」。こうして2005年にル・サンティエでローマン・ゴティエを創業。たったふたりの工房だった。

彼にはムーブメントの部品製造のプロフェッショナルという強みがある。現在、部品製造部門では歯車やピニオンなどを他ブランドに供給し、これが経営基盤のひとつとなっている。2011年にはシヤネルが自社ムーブメントのための部品製造を依頼し、さらには資本参加も申し出た。この展開はビジネス・プランのシナリオにはなかったはずだが、財政的な安定をもたらし、その後の発展を導いた。ローマン・ゴティエは現在、様々な専門分野の職人約40人から成るチームで時計製造に取り組んでいる。彼の存在を高級時計の世界で最も強く印象つけたのが、2013年に発表したルビッチェーンを備えた

ヴァンクリーフ&アーペル ヴレディアーペル ユールフロール ウォッチ

ランダムに咲く花が自然界の不規則性を表した花時計

ヴァンクリーフ&アーペルはウォッチーズ&ワンダーズジュネーブで機構も装飾も複雑さを極めた新作を披露した。18世紀のスウェーデンの植物学者が考案した「花で時刻を知ることができる夢の庭園」をヒントに、独創性溢れる機構が開発された。



計295個のダイヤモンドをセットした直径38.00mm×厚さ14.64mmの18Kホワイトゴールドのケースに自動巻きのCal. ARMV2902(93石、毎時2万8800振動、パワーリザーブ約36時間)を搭載する。開いた花の数が時を示し、ケース・サイドで分を表示する。写真は3時11分を示している。左ページの写真にあるように、裏蓋側には雲と花枝、トンボがエングレービングされる。またローターにはスニール仕上げ(同心円状の模様)を施し、その上のサファイア・クリスタルにはトンボを彫り、ブルーのエナメルが施される。開発と製造はリシュモン グループでムーブメントの開発・製造を専門とするヴァルフルリエの協力を得て、ジュネーブにあるヴァン クリーフ&アーペルの時計製作工房で行われた。価格3366万円。



ヴァンクリーフ&アーペルは2018年を最後にジュネーブで開催される新作発表会への出展を中断していたが、今年再びこのメゾンらしい華やかにして複雑な機構の新作を携えて登場した。

ヴァンクリーフ&アーペルは創業100周年を迎えた2006年から、ポエティックコンプリケーションと名付けた独創的な複雑時計を発表してきた。ムーブメントの開発・製造の専門工房のアーノールや、天文時計で知られるクリスチャン・ヴァン・ダー・クラウなどの協力を得て開発したムーブメントを搭載し、宝飾や彫金、ミニチュール・ペインティング、エナメルなどの伝統的な手工芸を生かした美しい文字盤を備えたロマンティックなモデルの数々は、女性たちを魅了するハイ・ジュエリーを生み出してきたジュエリーならではの発想だった。

さて今年も、ポエティックコンプリケーションの新作として、レディアーペルユールフロールウォッチが誕生した。これは18世紀のスウェーデンの植物

学者カール・フォン・リンネが1751年に著した『植物哲学』の中に記される時計に着想を得たものだった。リンネは多種多様な植物が咲き誇る庭園を想定し、「異なる時間帯で開閉する花を利用して時刻を知る庭園」というコンセプトを考案した。これにヒントを得て、ヴァンクリーフ&アーペルは文字盤を庭園に見立て、文字盤上で咲く花の数で時刻を知らせる機構を開発したのであった。ヴァンクリーフ&アーペルのプレジデント兼CEOのニコラ・ボス氏は「芸術と科学の境界線にある、リンネの素晴らしい花時計のコンセプトに関心を持った」と語っている。

ホワイトのマザー・オブ・パールの文字盤にはミニチュール・ペインティングの5枚の花びらをもつ花が12個散りばめられた。花にはローズゴールドの枝が付き、その周囲にはマザー・オブ・パールを彫ってミニチュール・ペインティングを施した雲が浮かぶ。そして毎正時にはそれまで開いていた花が閉じ、瞬時に次の時刻に合わせて数の花が開き、開いた花びら

オーデマピゲ ヲイヤル オーク

激動の時代に生まれ、50周年を迎えた アイコンック・モデル

もしこのデザインが存在しなかったら、その後の流れがかわっていたかもしれない、そう思わせる腕時計は多くはない。そのひとつが1972年に発売されたオーデマピゲの「ロイヤル オーク」であることに異論を唱える人はいないだろう。ジェラルド・ジェンタが生み出したステンレス・スチール製のトノー型ケースに八角形のベゼル、8個の六角形のビス。クォーツ危機が深刻化する前夜に登場した、それまでの腕時計には見られなかった全く新しいフォルムは「デザイン革命」でもあり、「ラグジュアリー・スポーツ・ウォッチ」というジャンルを生み出した。その誕生の背景をみてみたい。



1970年4月10日から同11日にかけて一夜にしてジェラルド・ジェンタが厚紙に鉛筆と水彩絵の具を用いて描いた「ロイヤル オーク」のデザイン画。

ブランド別新作情報 パート2 (WPHH / TIME UNITED / その他)

アーカイブの発掘、機構開発、カラーリング…… 新作にみる個性づくりのアーフォーチ

今回はフランク・ミュラーとクストスが新作を発表したWPHH、輸入代理店が集まり、東京で初めて開催されたTIME UNITED、(タイム・ユナイテッド)、そして個別で新作を発表したブランドの計23を取り上げた。価格帯もブランドの在り方もさまざまだが、過去の人気モデルにインスピレーションを得たり、あるいは新たな機構やデザインを開発したり、さらには明るいカラーを取り入れるなど、各社各様に消費者に広くアピールするクリエイションの追求が行われている。

WPHH

CVSTOS

FRANCK MULLER

TIME UNITED

ARNOLD & SON

BULOVA

CHRONOSWISS

FREDERIQUE CONSTANT

LOUIS ERARD

PIERRE DERO SCHE

RESERVOIR

ULYSSE NARDIN

Others

BELL & ROSS

BLANCPAIN

BREITLING

EBERHARD

GLASHÜTTE ORIGINAL

MAURICE LACROIX

JUNGHANS

LOUIS VUITTON

SINN

TUDOR

MONTBLANC

ORIS

PIAGET

時計も未来を考える〈Ⅲ〉

海洋プラスチック問題の解決に向けて動きだした腕時計

地球のおよそ7割が海で占められ、海があるからこそ地球のシステムが保たれる。ところがその海が汚染、特にプラスチックごみによる汚染に侵されている。私たちの日常はポリエチレンやポリプロピレン、PETなどのプラスチックで作られたレジ袋やボトルなどさまざまな製品が溢れ、これらがやがて海に流れ込み、マイクロプラスチックとなって存在し続ける。この問題の解決の一助になろうと動きだした時計メーカーがある。今回はSDGsの目標のひとつである「海の豊かさを守ろう」のために行動を起こしたパネライ、ユリス・ナルダン、モーリス・ラクロア、ボーム&メルシエを取り上げた。

Photo/Courtesy of Ulysse Nardin



海洋ごみはウミガメやクジラ、海鳥など700種近くの海洋哺乳動物に被害を及ぼし、その92%はプラスチックが原因といわれる。餌と思って食べてしまうことも多い。

ロジェ・デュブイ エクスカリバー モノバランシエ

ジュネーブ・シール初のシリニウム製脱進機装備のキャリバー

ロジェ・デュブイはムーブメントの見直しを進めているが、昨年の「エクスカリバー シングル フライング トゥールビヨン」に続いて、今年も自動巻き2針のスケルトン・ムーブメントを刷新し、Cal. RD720SQが発表された。そしてこのムーブメントを搭載した「エ

クスカリバー モノバランシエ」が登場した。ロジェ・デュブイは4つのテンプレを装備するCal. RD101とふたつのテンプレのCal. RD103を揃えることから、「ひとつのテンプレ」を意味するモノバランシエと名付けられた。この新作は、2015年に発表した

Cal. RD820SQを搭載したシンブルな2針の「エクスカリバー オートマティック スケルトン」の後継機種となる。ムーブメントには、アングルの爪とガンギ車にダイヤモンド・コーティングを施したシリニウム製が初めて使われた。テンプレはロジェ・デュブイでは初のフリー

スプリングを採用し、慣性モーメントを2倍に増やした。さらに香箱のサイズは同じだが、薄い主ゼンマイを装備し、また歯車の歯の形状や潤滑油を変更し、効率とエネルギー伝達が高められた。その結果、パワーリザーブは前作の約60時間から約72時間に延長された。

18Kピンクゴールドとタンゲステン製のマイクロローターのボールベアリングも改良され、振動と騒音が最小限に抑えられた。さらに特徴的なスターモチーフは前作では香箱のブリッジの役割を果たしていたが、Cal. 720SQではムーブメントから切り離され、香箱の上に浮かび上がる装飾となり、文字盤に立体感が加わった。

3モデルが揃い、写真にあるイーオンゴールド(ゴールド+銅+銀+パラジウム+錫の合金)と、ロジェ・デュブイ初のセラミックのモデルのほかに、ベゼルにダイヤモンドをセットした「エクスカリバー モノバランシエ ダイアモンド」(1050万5000円)も発売された。ストラップはクイックリリースシステムを採用し、工具を使わずに簡単に交換できる。



直径42.0mm×厚さ12.7mmのケースに自動巻きのCal. RD720SQ (32石、毎時2万8800振動、パワーリザーブ約72時間)を搭載。サファイア・クリスタル・バック。10気圧防水。

右はケースにブラック・セラミックを採用した「エクスカリバー モノバランシエ ブラックセラミック」。針はロジウム加工を施したピンクゴールド製。DLC加工のチタニウム製トリプル・フォールディング・バックルを備えるブラック3Dカーフ・レザー・ストラップ。価格836万円。

左はイーオンゴールド・ケースの「エクスカリバー モノバランシエ イオンゴールド」。ピンクゴールド製針。イーオンゴールドでカバーしたチタニウム製トリプル・フォールディング・バックルを備えるブラウン3Dカーフ・レザー・ストラップ。価格962万円5000円。

ワールド・ムック1279
WORLD WRIST WATCH

KESAHARU IMAI
Publisher

TOMOKO KAYAMA
Editor in Chief

KAZUO TSUBOI
Advertising Director

SHUNSUKE OGAWA
Production Director

HIROSHI SASAGAWA
Circulation Manager

DTP
BASE

Cover Photo/
Takenori Aoki (WPP)

●本誌に掲載されている価格は
令和4年8月31日現在の調べによるものです。
本文中の価格は消費税(10%)込みの総額表示です。
© WORLD PHOTO PRESS 2022

【次号予告】

2022年ブランド別新作情報 パート3 — ジュネーブ・ウォッチ・デイズ 2022 ほか

8月29日から9月1日までジュネーブで開催された

第3回目のジュネーブ・ウォッチ・デイズにはブルガリ、ブライトリング、

H・モーザー、ユリス・ナルダン、アーノルド&サン、オリス、

フレデリック・コンスタントなどが出展しました。

ここで発表された新作のほか、9月以降にお披露目された新作をご紹介します。

20周年を迎えたルイ・ヴィトンの時計製造

ダンブルとともにもスイス時計の世界に踊り出たルイ・ヴィトンは、
過去20年の間に目覚ましい発展を遂げました。その変遷をみていきます。

「世界の腕時計」第154号は2022年12月8日発売予定です。

世界の腕時計 定期購読のご案内

毎号、送料無料でお届けします!

お近くに書店のない方、毎号確実に入手したい方
便利な定期購読を是非ご利用ください。
特別定価アップ分、および送料はサービスいたします。

【年間購読料】

1年間(年4冊) **7,200円(税込)**
(3月、6月、9月、12月・8日発売予定)



【お申し込み方法】

- フリーダイヤル 富士山 富士山
- お電話で(年中無休24時間受付) **0120-223-223**
 - インターネットから <http://fujisan.co.jp/sekainoudedokei>
 - QRコードから 上記QRコードからアクセスして下さい。

【お問い合わせ】

富士山マガジンサービスカスタマーセンター
パソコンサイト: <http://fujisan.co.jp/cs>
メールの場合: cs@fujisan.co.jp
に、お問い合わせください。

■注意事項

- 定期購読の契約は、富士山マガジンサービスとの契約となります。
- お支払いのタイミングによっては、ご希望の開始号が後ろにずれる場合がございます。
- 地域によっては、発売日より商品到着が若干遅れる場合がありますので予めご了承下さい。
- 定期購読は原則として途中解約はできませんので予めご了承下さい。

【お詫びと訂正】 No.152の P96のキャプションに誤りがありました。
正しくは以下の内容となります。お詫びして訂正いたします。
「タイド・オーシャン・マテリアル社はタイやフィリピンなどで海洋
プラスチックの回収を行い、特にタイでは2004年にタイで起きた
津波で命を落としたふたりの子供の追悼のためにスイスで設立
された非営利団体のジャン・オスカー基金の協力を得ている。」

編集の都合上、内容が一部変更となる場合もありますので、ご了承ください。

ワールドフォトプレス総合サイト <https://www.monomagazine.com>

WORLD M O O K

ワールド・ムック1279

世界の腕時計

No.153

令和4年10月15日発行

発行人……………今井今朝春
編集人……………香山知子
発行所……………株式会社ワールドフォトプレス
〒166-0004東京都杉並区阿佐谷南1-12-1
アズ阿佐ヶ谷
編集部……………☎03-6383-2319 FAX.03-6383-2583
メディアビジネス部
……………☎03-5929-7682 FAX.03-6304-9443
販売部……………☎03-6383-2390 FAX.03-6383-2574
印刷所……………大日本印刷株式会社

- 造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら
小社・販売部宛てにお送りください。送料小社負担にてお取替えいたします。
- 本誌掲載記事の無断転載・複製・転写を禁じます。